

阪神南支部では、芦屋市・西宮市・尼崎市の3市で拠点活動と定期的に活動している出前隊の活動があります。コロナ禍に入り活動を休止している拠点や、各市、各団体主催のイベントも中止となり活動の機会が縮小しています。一日も早く以前の様な活動が出来る日が来ることを願いつつ、オンラインを活用した子育て支援の実施や、感染対策を考慮した対面での活動に取り組んでいます。

今回はクライストコミュニティチャペル武庫之荘の担当の方よりご依頼があり、コロナ禍で初となる対面での出前隊を行いましたので、その模様を皆様にご紹介したいと思います。

出前隊 クライストコミュニティチャペル武庫之荘

「まちの保健室」出前隊の依頼はかねてよりありましたが、今回一時的なコロナ感染状況の改善に合わせ、10月に活動を再開しました。

担当の方と調整を重ね、開催場所は近隣の幼稚園をお借りして行うこととなりました。

当日は感染対策を行い、地域住民の27名が参加されました。血管年齢測定器と体組成計を使用し、計測結果をもとに健康相談を行いました。相談の後は、ブレイクティータイムのスペースを設け、みなさんのふれあいの場となりました。



参加者の多くは、地域で実施している100歳体操の帰りに寄られた方が多く、健康意識が高い方が多かったです。「健康のために毎日歩いているの」等、話され和気あいあいとした雰囲気で行われました。



ボランティアスタッフも、看護師、栄養士、幼稚園教諭、看護学生の実習生も参加しました。ボランティアの方からは、初めての試みで、地域住民の健康に対する認識がわかり、楽しい時間が過ごせたという言葉頂き、是非今後も継続して開催できたらという声があがりました。また看護学生からは、大学の「まちの保健室」活動が休止している中で初めて現場を体験できたことは、いい学びになったとの感想がありました。

今後も、少しずつ地域住民の健康の一助となるように、活動の場を広げていきたいと思います。



拠点 くまの介護医療院

熊野病院は、本年度阪神南地区において新規拠点に加わり、活動させていただくことになりました。熊野病院はくまの介護医療院を併設しています。介護医療院は地域との交流の必要性があるため、この機会に病院として「まちの保健室」を地域交流の一環として活動させていただいています。

本年度の開催予定は3か月ごとの4回/年（6月・9月・12月・3月）としていましたが、新型コロナウイルス感染症発生の影響もあり、9月は開催できませんでした。

初めての試みで地域への周知方法に苦慮しました。院内での広報と共に地域へは自治会を通じてポスターを近隣世帯に配布しました。

参加人数

年齢 日付	75 歳以上	65 歳以上	65 歳未満
6/30	10		
12/15	5	1	1
3/16	6	4	

まだまだ参加人数も少なく地域の方々の周知不足もありますが、今後も「まちの保健室」を通じて、地域において当院の周知とともに地域住民の方々の減災・防災、健康相談、保健指導の場として活動していきたいと思っています。

